

わずか30MバイトのLinux! オーディオ再生専用lightMPD

松原 克弥

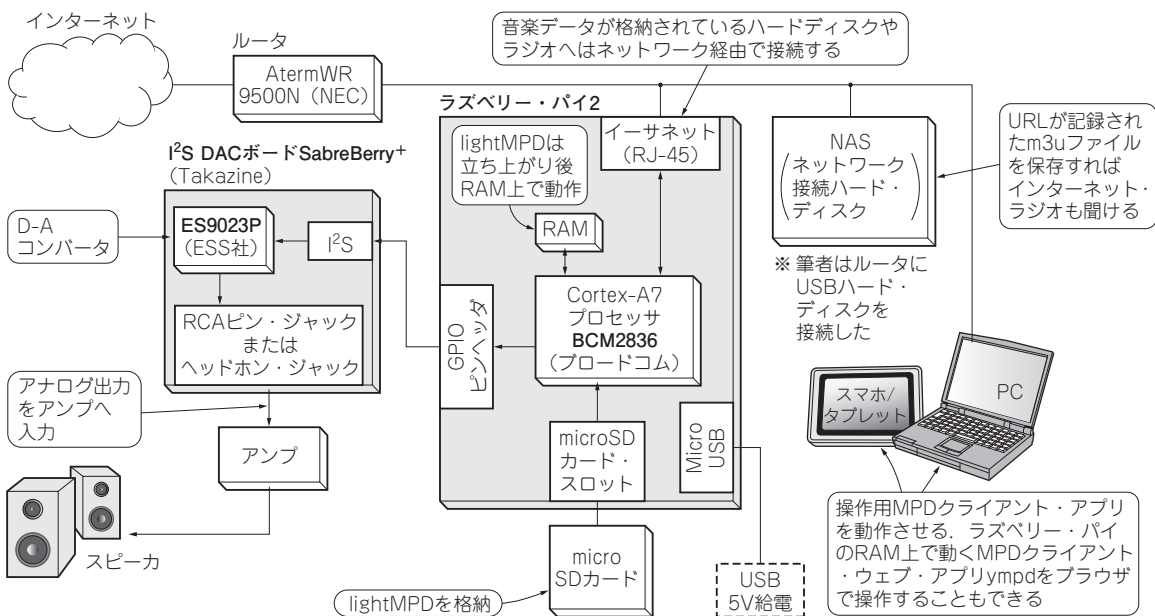


図1 オーディオ用オススメLinux lightMPDを試すための実験構成

ラズベリー・パイ2のGPIOピン・ヘッダにi2S DACを接続する。また、再生したい音楽ファイルを格納するためのNASを準備して、ラズベリー・パイ2と同じネットワークに接続する。音楽ファイルの選択や再生制御は、PCやスマホ/タブレット上で動作するMPDクライアントを使ってネットワーク経由で行う

CPUが強化されたラズベリー・パイ2(ラズパイ2)を使えば、これまで負荷が大きすぎて利用が難しかった高音質アップサンプリング処理を行えます、非ハイレゾ音源をハイレゾ変換できるようになります。

本章では、高音質アップサンプリング・ライブラリが利用できて、音質にこだわったチューニングでも評価が高い、音楽再生用LinuxディストリビューションlightMPDを使って、ハイレゾ対応ネットワーク・オーディオ・プレーヤを構築してみます(図1)。

わずか30Mバイト超コンパクト! lightMPDの特徴

lightMPDは、NASなどのネットワーク・ストレージ上に保存された音楽を再生するサーバ・ソフトウェアMPD(Music Player Daemon)の実行に特化した

Linuxディストリビューションの一つです。MPD向けLinuxディストリビューションとしてはVolumioやVoyage MPDが有名ですが、それらと比べて以下のような特徴を持つlightMPDが注目されています。

● 特徴1…インストールに必要なストレージ容量はわずか30Mバイト

MPDによる音楽再生に必要なソフトウェアだけをパッケージ化することにより、非常に小さなフットプリントとなっています。必要なストレージ容量はわずか30Mバイト(推奨は100Mバイト)で、古いmicroSDメモリーカードでもインストールできます。また、Linuxカーネルもほとんど必要な機能に絞ることで、動作に必要なメモリ容量も小さくなっています。